香川県立小豆島中央高等学校 普通科〔全日制課程〕



1 学校基本情報設置学科・コース普通科 (特進コース、普通コース)全校生徒数402名住所/電話香川県小豆郡小豆島町蒲生甲 1001番地 (オリーブパス「小豆島中央高校前」下車すぐ 池田港より約1㎞) 0879-61-9100

2 スクール・ミッション(各校の存在意義や期待される社会的役割)

学校の使命:「小豆島唯一の高校」(地域性)「四方の海に開き・世界へ漕ぎ出す高校」(開明性・先取性)

学 校 目 標:「自立」「真心」「小豆島」 - 自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人 -

スローガン:「櫂風」-風を読み、風を起こし、人生という海原へ、自分の力(櫂)で漕ぎだそう!-

3 スクール・ポリシー(生徒育成方針、教育課程編成・実施方針、生徒募集方針)

このような生徒を求めています。(アドミッション・ポリシー)

高校生活を小豆島で送り、ここで学ぶことに意義を見出している生徒

- ・多様な価値観に触れることで視野を広げ、自分の特性についての理解を深めたい生徒
- ・自分の特性にあった進路実現を目指したい生徒
- ・地域課題に対して興味・関心を持つとともに、学習や探究活動等に積極的に取り組む意欲のある生徒
- ・将来、自分が属する地域を中心に社会を支えていこうと考えている生徒

このような学びを行います。(カリキュラム・ポリシー)

多様な価値観をもつ生徒集団(小社会)の中で、異なる立場や考え方に触れる機会を多く設定します。 学ぶこと(理論)と行動すること(実践)のバランスを重視した学びを提供します。

島の学校であるからこそ、地域に結びついた学習活動にも積極的に取り組みます。

卒業までにこのような生徒を育てます。(グラデュエーション・ポリシー)

【学校目標:「自立」「真心」「小豆島」を掲げ、自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人を育成します。】

│ 立:まわりとの関係を適切につくり、どんな状況でもたくましく自分の力を発揮する人に。

真 心:物事の本質、真理を見極める心をもち、何事も心をこめて行う人に。

小豆島: 自分の属しているところに誇りをもって大切にし、仲間と気持ちを合わせてともに高め合い、

将来を担う人に。

責任を果たす力、自分に問う力、自分を信じる力、受け取る力、慮る力、 工夫する力、世界を広げる力、協働する力、貢献する力 を育てます。

4 学校の特徴

特徴的な授業や取組み

Standard 櫂風(総合的な探究の時間「櫂風」): 小豆島を素材に社会を知り、社会をよりよくする方法に ついて考えます。地元の役場などの方々も助言してくれ、社会を知ることができる時間です。

Plus One 櫂風~世界へ漕ぎ出すプログラム~ : 授業や部活動以外にもう一つの活動に参加してもらいたいという意味で設定しています。多彩な体験に挑戦し、今後の社会で必要とされる力を育成します。

- ・わたしのみらいゼミ: 進路選択の参考にしたり視野を広げたりするために、様々な方面の専門家や地域で活躍する方々を招いて講義やワークショップを実施しています。生徒は自由に選択して参加できます。
- ・**しまのみらいプロジェクト**:地域の人とともに小豆島の魅力や課題を発掘し、よりよい未来づくりに向けての提案などをフリーペーパーや SNS を通して、島内外に発信する活動です。

特色ある学校行事

体育祭: クラスづくりを目的として5月初めに開催します。応援やパフォーマンスを通して、学校生活の基盤となるクラスの結束を高めます。この過程で人間関係形成能力の育成をはかっています。

文化祭:地域の人に高校生の学習成果を表現することを目的として9月に開催します。1,500人以上の来訪客を迎え、自分たちの表現活動を探究し披露します。参加者も含め学校が大いに盛り上がります。

活躍が顕著な部活動

陸上競技部:毎年複数の種目でインターハイへの出場を果たすとともに、長距離走においては9年連続(小豆島高校時代から)で男子全国高校駅伝に出場するなど、本県の陸上競技を牽引する役割を担っています。

進路状況(令和7年3月卒業生の合格実績値〔過年度の卒業生を含む〕)

大 学		市明学坛	就 職	
国公立	私立	⋛IJ ╱ Ҟ	香川県内	香川県外
2 1 (内短大 4)	1 0 5 (内短大 1)	2 9	1 2	2

< 進路の特徴 >

難関国公立大学への進学を目指す生徒もいれば、地元企業に就職する生徒もいるなど、生徒の興味・関心や進 路希望は多様であるため、所属するコースや一人ひとりの進路希望に応じた進路指導を行っています。

< 小豆島中央高校 (全日制) 小豆島唯一の高校として、四方の海に開き、生徒が世界に漕ぎ出す高校へ >

学校目標: 自立 真心 小豆島 - 自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人 -

スローガン:「櫂風」-風を読み、風を起こし、人生という海原へ、自分の力(櫂)で漕ぎだそう!-

・将来、自分が属する地域を支えていこうと考えていて、将来、自分が属する地域を支えていこうと考えていて、学・地域課題に対して興味・関心を持つとともに、学・地域課題に対して興味・関心を持つとともに、学・視野を広げ、自分の特性についての理解を深めたいより、日本のでは、自分の特性についての理解を深めたいより、日本のでは、自分の特性についての理解を深めたいより、日本のでは、

にいと考え **る生徒**

L١

る生徒

学習や探究活動等に積極的に取

1年次

しっかりと外の世界を受け取り、自 分の世界を広げる

<育成する資質・能力など>

世界を広げる力

・知らない世界に目を向け、そ れを知ろうとする

受け取る力

・話をしっかり聴き、相手の伝 えたいことを受け取る

責任を果たす力

・自分の役割や仕事を最後までやりきる

[教育課程のねらい]

特進コースと普通コースに定員を分けて募集

- ・特進コース:難関大学への進学
- ・普通コース:特性に応じた進路選択

体育祭・文化祭

島高夏塾

担任・副担任面談

2 年次

自分自身の考えを深め、まわり の状況を考えた行動をとる

<育成する資質・能力など>

自分に問う力

・自らを振り返り、自分の選択を見直す

慮る力

・周囲の状況を考慮し、思い やりをもって行動する

協働する力

・他者と目標を共有し、協力して活動する

[教育課程のねらい]

文系・理系など進路希望に応じたコース選択

・特進コース: 文系 理系

・普通コース: 総合A 総合B 文系 理系

体育祭・文化祭

島高夏塾・島内産業見学会 修学旅行

担任・副担任面談

3年次

自分の持つ力を最大限に発揮・ 表現し、周囲に貢献する

<育成する資質・能力など>

自分を信じる力

- ・集団をよりよい方向に導く
- ・何事にも挑戦できる

工夫する力

・よりよいものを求めて、ク リエイティブに表現する

貢献する力

・地域や社会のために、自分 にできることを実行に移す

[教育課程のねらい]

希望進路の実現に向けて前進あるのみ!

・特進コース: 文系 理系

・普通コース: 総合A 総合B 文系 理系

体育祭・文化祭

島高夏塾・島内産業見学会 進路面談・面接指導

担任・副担任面談

「進路先)

をそれぞれ 学校目標

れつの自

の進路に送り出します。の力を身に付けた人材日立・真心・小豆島」に

国公立大学

私立大学 短期大学

専門学校

島内企業

島外企業

公務員など

各教科の授業(社会人として必要とされる基礎的な学力を着実に身に付ける)

Standard 櫂風 (総合的な探究の時間「櫂風」)

(小豆島を素材として、よりよい社会の実現を目指そうとする姿勢を身に付ける)

特別活動(他者との協働を通して、豊かなコミュニケーション能力と問題解決能力を身に付ける)

Plus One 櫂風 (学びを実践に結び付け、実際に地域や社会に貢献できるような実践力を身に付ける)

香川県立小豆島中央高等学校 普通科〔定時制課程〕



1 学校基本情報			
設置学科・コース	普通科 (四修制、三修制)	全校生徒数	1 3 名
住所/電話	香川県小豆郡小豆島町蒲生甲 1001 番地 (オ	ノーブバス「小豆島中央	高校前」下車すぐ 池田港より約1km)
	0879-61-9100(代) 0879-61-9102(定時制	直通)	

2 スクール・ミッション(各校の存在意義や期待される社会的役割)

学校の使命:「小豆島唯一の高校」(地域性)「四方の海に開き、漕ぎ出す高校」(開明性、先取性)

学校目標 :「自立」「真心」「小豆島」 - 自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人 -

3 スクール・ポリシー(生徒育成方針、教育課程編成・実施方針、生徒募集方針)

このような生徒を求めています。(アドミッション・ポリシー)

- ・高校に毎日登校して、勉強しようとする強い気持ちをもった生徒
- ・自分や他者を大切にしようという気持ちをもち、自分と異なる考えを受け入れる姿勢をもった生徒
- ・ルールを守り、自らの可能性に向かって自分としっかり向き合いながら物事に真剣に取り組む生徒
- ・将来、自分が属する地域や社会の中で、誠実に生きていこうと考えている生徒

このような学びを行います。(カリキュラム・ポリシー)

- ・多様な生徒とともに、異なる立場や考え方に触れる機会を設定します。
- ・学ぶこと(理論)と行動すること(実践)のメリハリをつけた学びを提供します。
- ・地域の伝統や文化を体験することで、地域理解を深める学びを行います。

卒業までにこのような生徒を育てます。(グラデュエーション・ポリシー)

自 立:自らを振り返り、自らを理解しようとする人に。

自分の在り方を見つめ、自分を活かそうとする人に。

真 心: 他者との対話や交流を通じて、異なる考えを受け入れようとする人に。

相手のことを考えながら、何事にも心をこめて取り組む人に。

小豆島: 役割を果たすことで自分の居場所を見つけ、その場に貢献できる人に。

学校内外での活動を通じて、所属する地域や集団をよりよくしていこうとする人に。

4 学校の特徴

特徴的な授業や取組み

小豆地域唯一の高校にある定時制課程です。2学年以降は4年間で卒業する四修制と3年間で卒業する 三修制とを選択することができます。さらに、生徒の学力に合わせた個別学習指導や、定期考査前の学習 会の実施など、生徒のペースに合わせ社会人としての自立に向けた資質や能力の育成をはかっています。

特色ある学校行事

- ・観月会:茶道の講師によるお茶会を行ったり、秋をテーマにした俳句を作成したりすることで、季節と ともに日本の文化や伝統に親しみます。
- ・校外学習:全校生で県内の名所等をめぐり、地元香川県のよさを再発見するとともに、集団行動を通じ た社会性や公共性を養い、良好な人間関係を築きます。
- ・地元企業見学会:小豆島ならではの製造業や観光業などを中心とした企業を訪問し、地域の産業を知ることで、自らの生き方について考え、進路学習を進めます。

活躍が顕著な部活動

部活動はありませんが、毎年6月に行われる定通総体に向けて全員で練習を行い、何かの競技に参加します。8月の全国大会に出場する生徒もいます。(令和6年度は陸上競技で1名が全国大会出場)

進路状況(令和7年3月卒業生の合格実績値〔過年度の卒業生を含まない〕)

大 学		恵 門学校	就 職	
国公立	私立	→ 寸 门子仪	香川県内	香川県外
0 (内短大 0)	0 (内短大 0)	2	4	0

<進路の特徴>

大学や専門学校への進学を目指す生徒や、地元企業に就職する生徒など、生徒の興味・関心や進路希望は多様で年によっても変わります。生徒一人ひとりの進路希望や特性に応じた個別の進路指導を行っています。

自らを振り返り、自らを理解しようとする力 目立

自分の在り方を見つめ、自分を活かそうとする力

他者との対話や交流を通じて、異なる考えを受け入れようとする力 とを考えながら、何事にも心をこめて取り組む力

小豆島

役割を果たし、自分の居場所を見つけ、その場に貢献できる力 所属する地域や集団をよりよくしていこうとする力



1年次

り組む生徒 ・ルールを守り、自ら もった生徒 もった生徒 しているを大切に ・自分や他者を大切に ・自分や他者を大切に ・自分や他者を大切に ・自分や他者を大切に

自らの可能性に向かって自分としっかり向き合いながら物事に真剣に取

にしようという気持ちをもち、自分と異なる考えて、勉強しようとする強い気持ちをもった生徒

自分と異なる考えを受け入れる姿勢を

「教育課程のねらい]

- 毎日4時間の夜間授業 ・仕事(生活)と授業の両立
- ・基本的な生活習慣の確立
- ・少人数教育の推進

「育てる力]

自己理解(自立)

- ・自らの生活を振り返る
- ・自らの特性を理解する
- コミュニケーション(真心)
- ・他者と対話や交流を行い、 自分と異なる考えを受け 入れる

集団に貢献する姿勢(小豆島)

・自らの役割意識を持つ

2 年次

「教育課程のねらい]

希望によるコース選択 四修制:夜間授業のみ

4年間で卒業

·三修制: 4 時間の夜間授業 + 昼間2時間の授業

3年間で卒業

「育てる力] 自己実現(自立)

・自分の活かし方を考える 他者理解(真心)

・他者の立場を考えた行動を とる

集団に貢献する姿勢(小豆島)

・自らの責任を果たす

3年次

「教育課程のねらい]

·四修制: 4年間で卒業

·三修制: 3 年間で卒業

[育てる力] 自己実現(自立)

・自らの在り方を見つめ、 自己を活かす生き方を考 える

他者理解(真心)

・他者への配慮のある言動 をとる

集団に貢献する姿勢(小豆島)

・自分の所属する場に貢献 する

4年次

「教育課程のねらい]

四修制: 4年間で卒業

[育てる力] 自己実現(自立)

・自らの在り方を見つめ、 自己を活かす生き方を 見つけ、表現する

有為な青年として、社会で 生き抜く人材を送り出し、 地域を中心に活躍

「進路先1 大学・短期大学 専門学校 島内外の企業

など

【主な学校行事】

1 学期 入学式、対面式、面接週間、遠足、定通総体、行事週間

2 学期 文化祭、面接週間、観月会、生活体験発表会、修学旅行、校外学習、行事週間

3学期 もちつき大会、テーブルマナー講習会、行事週間、地元企業見学

基礎的な学力・体力の向上 基本的な生活習慣の確立 規範意識の育成 人権意識の醸成

(すべての教育活動を通して、上記の力の育成を継続的に目指す)